

いしかわ

4

2017 April

第687号

平成29年
4月1日発行



特集

2~5面

平成29年度予算を
お知らせします



卒業

石川中学校の卒業証書授与式は3月13日、同校体育館で行われました。最高の仲間たちと歩んだ3年間の思い出を胸に、127名の卒業生は大きな夢へ向かって新たな一歩を踏み出しました。

【写真上】卒業おめでとう！

【写真下】卒業証書授与式のようす

平成29年度の事業内容の

一部をお知らせします

▶新規事業

■石川地方消費生活相談事業…378万円

高田地内の石川町合同庁舎に、消費生活に関する相談を受け付けるために、石川地方消費生活相談窓口を設置、運営します。

▶継続事業

■小学校施設耐震補強・大規模改造事業 ……………1億5,083万円

野木沢小学校の耐震補強・大規模改造工事を実施します。

▶継続事業

■子育て応援事業……………645万円

新生児祝金の第一子からの支給や子育てサロンに加え、屋内での遊び場広場である子どもふれあい遊び場広場を運営する経費です。

▶継続事業

■放課後子ども教室事業……………267万円

放課後に児童（1年生～3年生）の安全・安心な活動拠点と体験活動機会を提供し、子育て支援を図ります。

▶新規事業

■歴史文化基本構想策定事業…424万円

町内の文化財及びその周辺環境を保存するための基本方針として歴史文化基本構想を策定します。

▶継続事業

■さくら保全活用事業……………547万円

桜の保全管理及びさくらサポーターの育成を図ります。

▶継続事業

■児童クラブ運営経費……………770万円

昼間、家庭に保護者のいない小学校児童の育成指導を行います。

▶継続事業

■小中学校給食費補助事業 ……………2,924万円

町立小中学校の児童及び生徒の給食費の半額を補助します。

▶新規事業

■文教福祉複合施設整備事業

……………7億8,702万円

旧石川小学校を改修し、文化・教育・福祉の複合施設として、現在の小中学校と連動した利活用を図る。子育てサロンや放課後児童クラブなどの子ども支援センター及び図書館や学習室などの生涯学習センターの機能も集約させます。



旧石川小学校校舎

▶新規事業

■まちなか再生事業……………2,790万円

- 1.役場日本庁舎の跡地に公衆トイレを建設します。
- 2.鈴木重謙屋敷の周辺整備に係る今後の方針を決定するとともに、敷地全体の設計を行います。

▶新規事業

■旧雇用促進住宅改修事業……………972万円

子育て世帯向け町営住宅へ改修するための設計を行います。

▶新規事業

■給食調理場建設事業……………1,885万円

石川中学校の給食調理場を建設するための設計費用です。

▶新規事業

■町営住宅建設事業……………2億3,811万円

旧福島県合同庁舎の跡地に若者世帯向けの町営住宅を建設します。

▶新規事業

■農業基盤整備事業……………1,863万円

沢井地区のほ場を整備するための設計費用です。

▶新規事業

■水道未普及地域負担軽減事業

……………501万円

水道未普及地域に居住している方が、給水施設を整備する場合に費用の一部を補助します。

まなび舎から結び舎へ

「屋外遊び場広場」と「文教福祉複合施設」
～旧石川小学校の再生・活用に向けて～

みんなの施設を
みんなで考えました
ワークショップだよりー

平成27年3月に閉校した旧石川小学校を「文教福祉複合施設」と「屋外遊び場」として整備し、多くの町民の方に利活用いただくため、使い方や運営方法を町民の皆さんと共に考えるワークショップを開催しました。(全5回)



人と人との交流を大切に、石川町

の風土、文化、人を育む地域の核として、子どもから高齢者まで、皆さんにより親しまれる魅力ある施設にしようど、昨年7月から開催されてきたこのワークショップでは、参加者の皆さんとともに、子どもたちに遊び場にしたいか、また、文教福祉複合施設では図書館やオープンスペース、子育てサロン、生涯学習といった様々な機能をどのように配置し、どんな活動が展開されるのかを話し合つてきました。

1日プレーパーク体験を通して感じた「外で遊ぶ」の大切さ
「子どもたちが自ら遊び」をつくり、「やつともみたい」を実現できる屋外遊具ー

2回目のワークショップでは、「1日プレーパーク体験」を併せて開催し、子どもたちの笑顔と元気な声が響きました。歓声を上げながら泥んこになつて遊ぶ子どもたちの姿に「感受性を育むためには、身体を使って遊ぶことが大切」「大人が子

どもたちの遊びを理解し、見守る姿勢が必要」との意見が出されました。それら、ワークショップで出された意見を取り入れ、屋外遊び場広場には、「地形」と「自然」を生かした合体遊具が設置されます。

町オリジナルの遊具です。
この遊び場で、子どもたちの元気な姿が見られるのが楽しみです。

ワークショップでは、「校舎の面影が残る施設にしたい」「子どもと大人の交流を大切に」という意見にて、各機能の配置は「児童クラブや子育てサロンといった子どもたちのための空間を1階とし、屋外の遊び場広場との連続性」という意見や「図書館は静かで落ち着いた空間に」という意見も出されました。そうした意見を反映させ、最終的に現在の校舎の西側を1階建てから1階建てに減築して図書館に。東側は3階建てから2階建てに減築して、1階にオープンスペース、子育てサロン、屋外遊び場、児童クラブを、2階に生涯学習の活動スペースを配置します。



記憶と人をつなぐ
文教福祉複合施設
「子どもから高齢者まで、誰もが気軽に集える施設をー

建築家の西村浩先生によるデザイン監修の下、図書館には、石川町の歴史や自由民権運動に関するコーナーや学習室、子どもたちのための読み聞かせ室、天気の良い日にはテラスでの読書が楽しめるデッキも設けられる予定となっています。また、中央のオープンスペースにはオープンキッチンも配置される予定となっており、各種ワークショップやマルシェ、ものづくり体験、作品展示などにもご利用いただけます。

ワークショップの参加者の皆さんからは、「子育てサロンと連続するオーブンスペースのキッチンを使って離乳食や食育についての勉強会、交流会を開催したい」との声も聞かれました。

さらに、2階の生涯学習エリアには、大小5つの活動室と、和室、音楽室が配置され、町民の皆さんのが日々活動の舞台となります。

「町民の、町民による、町民のための施設」を目指して
一目標は官民連携の運営

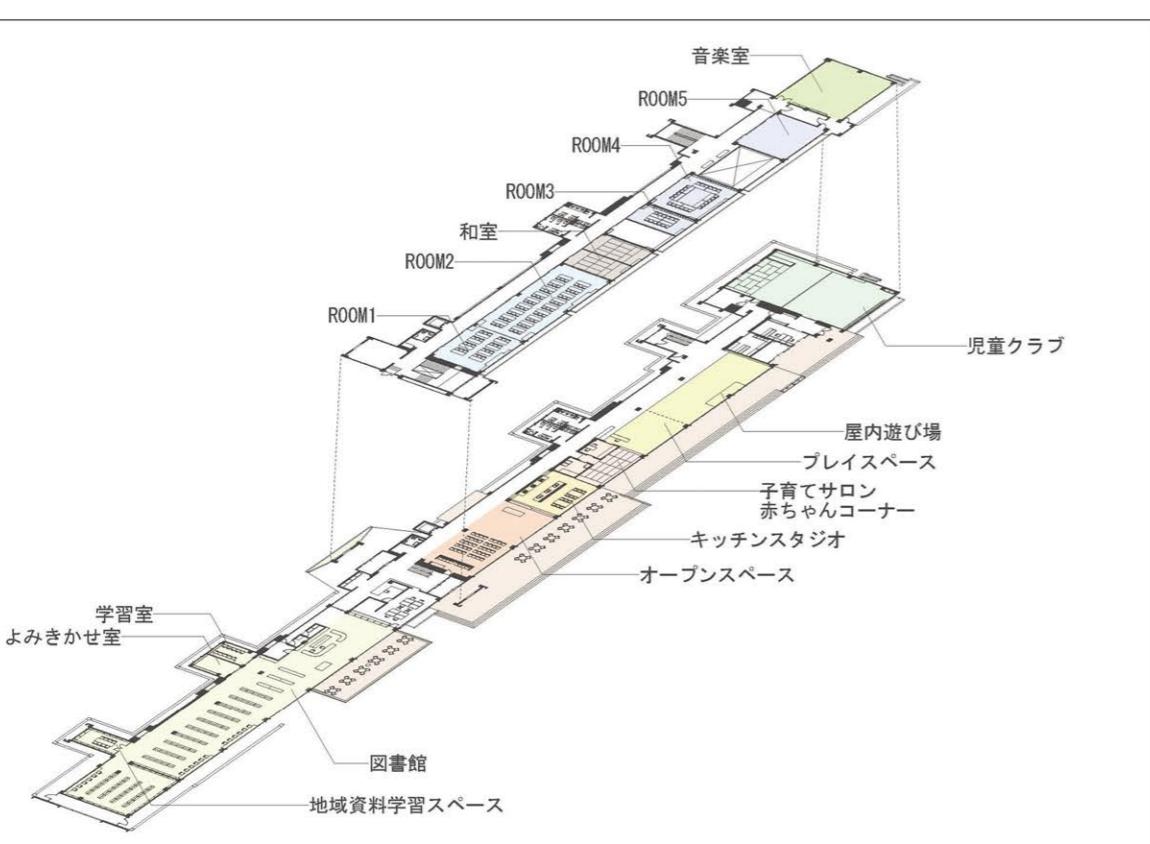
第5回ワークショップでは完成後の運営についての意見交換がなされ、「屋外遊び場の見守りは町民も参加して行う体制をつくる」「子どもたちが大いに遊び、町民が利用しやすく、親しまれる施設にしていくため、町民自らが運営に参加し、最終

文教福祉複合施設は平成30年8月の完成を目指して、現在実施設計が進んでいます。「みんなの施設を考えるワークショップ」は、今後は施設の運営に参加、サポートしきださる方々を募集し継続していく予定です。詳細が決まり次第、町民の皆さんにお知らせいたします。

お問い合わせ先

地域づくり推進課

26-9112



街かど探検隊



石陽史学会が顕彰受賞を報告

公益財団法人福島県文化振興財団は福島県の文化向上及び伝承に貢献した3個人、2団体を表彰し、郷土史誌部門で石陽史学会（鈴木吉重代表委員）が受賞しました。

表彰式は3月5日にとうほう・みんなの文化センターで行われ、その後、鈴木代表委員、渡辺実副代表委員が町長に受賞の報告を行いました。鈴木代表委員は「今回の受賞は励みになった。これからも地域の文化に貢献したい」と喜びを語りました。



いつまでもお元気で 石井忠士さんが100歳に

石井忠士さん（坂路字馬場宿）が3月5日に100歳を迎え、八幡屋で賀寿贈呈式が行われました。

式では、鈴木陽一福島県県中保健福祉事務所副所長から県の賀寿と記念品が、加納町長から町の賀寿と祝い金が贈られ、その後ご家族より花束が贈されました。

石井さんは、詩吟やハーモニカが趣味とのことで「好き嫌いなく何でも食べ、くよくよせず前向きに考えること」が長寿の秘訣のようです。



添田心愛さんが 絵画で優秀賞を受賞

国土交通省の平成28年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」において、添田心愛さん（石川中3年）が絵画（中学生）の部で優秀賞（国土交通事務次官賞）を受賞し、3月10日に応接室で鈴木良治福島県県中建設事務所長から賞状が伝達されました。

受賞された添田さんは「今回の受賞を励みにいろんなことにチャレンジしたいと思います」と話されました。



交通事故防止のために 新入学児童へ交通安全グッズ

交通安全に役立ててもらおうと3月10日、石川地区交通安全協会（二瓶義徳会長）より反射材のキーホルダーや交通腕章などの交通安全を呼びかけるグッズが、石川町交通安全母の会連絡協議会（金内奈緒子会長）よりランドセルカバーが贈されました。

交通事故を防ぐためには、子どもたちが交通ルールを守るとともに、ドライバーの安全運転、地域の方々による見守りのご協力が必要です。みんなで交通事故防止に努めましょう。



夢みなみ農業協同組合が LED防犯灯を寄贈

夢みなみ農業協同組合（橋本正和代表理事組合長）から町へLED防犯灯が寄贈されました。

贈呈式は2月14日に応接室で行われ、岡部喜市郎代表理事専務より加納武夫町長へ目録が贈呈されました。

LED防犯灯は字古館地内へ15基、字屋敷入地内へ4基、計19基が設置され、夜道の安全が確保されています。温かいご支援に感謝いたします。



旧中二小跡地利活用を考える オープントーク開催

旧中谷第二小学校跡地利活用特設委員会（三森孝浩委員長）主催の第1回オープントークは2月25日、旧中谷第二小学校で行われました。

同委員会は、平成27年3月をもって閉校した同校について「なんとかしたい」「学校を中心に地区的活性化ができたら」の思いのもと、7名でスタートした組織です。

当日は、建築分野などで活躍されている専門家を招き、跡地利活用に向けて参加者との意見交換が行われました。



昔ながらの自転車紙芝居に 子ども達の笑顔と笑いがいっぱい

「たっちゃんの紙芝居」が2月9日、第一保育所で行われ子ども達の笑顔と笑いであふれていました。

この事業は、公益財団法人福島県文化振興財団の「ふくしま文化芸術による子供の育成事業」によるもので、マーガレット一家（愛知県）の川上竜生さんが子ども達に紙芝居をプレゼント。

当日は、昔ながらの自転車に紙芝居を乗せたスタイルで登場、体を使った迫力ある自転車紙芝居に子ども達は笑顔であふれていました。



愛恵自立支援センターへ 助成金贈呈

日本赤十字社福島県支部県中地区有功会（角田文弥会長）による助成金の贈呈式は2月24日、応接室で行われました。

同会は、毎年日本赤十字社の社資普及と会員社資増強運動の一環として、県中地区管内の福祉施設に対して助成を行っており、社会福祉法人やまと会愛恵自立支援センター（大野悦人理事長）へ助成金が贈呈されました。

贈呈を受けた大野広光同施設長は「有効に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

取材します！ 身近に行われている楽しいイベントや明るい話題などを役場総務課までお寄せください。

地域包括支援センターは 高齢者のみなさんの相談窓口です

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者のみなさんを、医療・介護・福祉などさまざまな面から総合的に支える機関です。高齢者のみなさんやそのご家族、地域のみなさんの医療や介護、生活に関する心配ごとの相談窓口になっています。「家族が閉じこもりがちになり心配」「家族の物忘れが気になる」「介護保険はどんな時に使えるのか」「ひとり暮らしが不安になってきた」「近くの〇〇さんの様子がおかしい」等々、お気軽にご相談ください。

また、地域包括支援センターでは、介護者の集いや認知症サポート養成講座も実施しています。ぜひ、ご活用ください。



相談・お問い合わせ先 石川町地域包括支援センター ☎26-4606

ともに認め合い
支え合う社会へ

男女共同参画
いしかわ

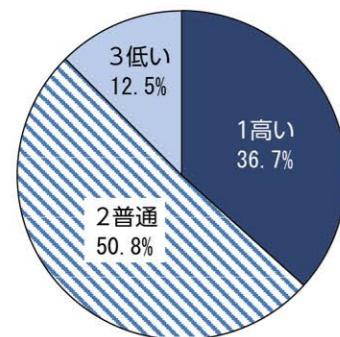
石川町における女性の雇用に関する実態調査② 女性従業員の割合

町内事業所を対象に実施した「石川町における女性の雇用に関する実態調査」の結果を毎月紹介します。
(200事業所内の129事業所64.5%回答)

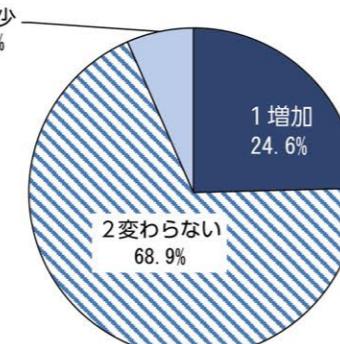
女性従業員の割合は同業他社と比べてどうかの質問には「高い」「普通」が8割を超え、同業他社と比べ男女の割合に差がないと回答した事業所が多かった。

女性従業員の割合は、3年前と比べ変化しているかの質問には3年前と比べ7割近くが「変わらない」と回答したが、「増加」と回答する事業所もあり、男女の差は縮小傾向にあると考えられます。

1. 女性従業員の割合(同業他社との比較)



2. 女性従業員の割合(3年前との変化)



おじいちゃん おばあちゃん といっしょ



- どなんお孫さんですか？
元気もりもりで明るい子たちです。
- おじいちゃん、おばあちゃんと
どんなことをして遊びますか。
木のブロックで遊んだり、恐竜
のおもちゃで遊んだりします。
- お孫さんへメッセージをお願い
します。
元気で優しい子に育ってほしい
と思います。



第一保育所に通う遠藤 隼斗くん、妹の優香ちゃん、
祖父の幸男さん、祖母の三枝子さんです。

私たち食改は、平成3年から「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、栄養バランスの良い健康的な食生活の定着を目指し、38名の会員で自主的な活動を行っています。

健康食育
季節(旬)の食材を
食べよう!

地域での活動の輪が大きくなり、「食改さん」という名も広まり、これからも地域の皆様の健康づくりのため「お隣さん、お向かいさんへ」とよりよい食生活を伝える活動をしていきたいと思います。健康的な食生活には、栄養価の高い食材を使うことです。旬の野菜や大豆製品など栄養価が高い食材を選び料理に取り入れましょう。



石川町食生活
改善推進員会
二瓶 元子会長
(中野)



春のいなり寿司(4~5人分)

材 料 A	米	2合	酢	大さじ2
	黒豆	50g	砂糖	10g
	油揚げ	6枚	醤油	小さじ1/2
	醤油	適量	塩	4g
	みりん	大さじ2	菜の花	30g
	酒	大さじ2	塩	少々
	砂糖	大さじ2.5		
	水	300cc		

- ①米は洗って、水気を切っておく。
- ②黒豆は、フライパンで乾煎りにし、少し黒豆の皮が割れる程度まで炒る。
- ③①と②を合わせて炊飯釜に入れ、米の分量の水を加えて炊飯器で炊く。
- ④油揚げは袋状になるように手押しして、包丁で半分に切り、熱湯で油抜きをした後、水分を取る。
- ⑤鍋にAの調味料を加え、ひと煮立ちしたら④を入れ味が染まるまで煮る。
- ⑥③のご飯は炊き上がったら、粗熱を取りながらBの三倍酢を合わせざっくり混ぜる。
- ⑦⑤の油揚げに⑥の酢飯を詰める。
- ⑧菜の花は適当な長さに切って塩茹でし、⑦に添えて皿に盛り付けて出来上がり。



- 疲れやすいと感じている方、骨盤ヨガで「緒にリフレッシュします」
- 日程
6月5日・12日・19日・26日
(全日程日曜日の開催となります)
- 時間 午後6時45分～午後8時15分
- 場所 石川町公民館
対象 女性20名程度
(定員になり次第締め切ります)
- 参加費 無料
- 注意事項
※参加を希望されるときは、電話で申し込むか、申込書を石川町公民館まで提出願います。追って詳細を通知いたします。
- お問い合わせ・お申し込み先
石川町公民館
石川町字高田200-1
☎ 026-125566

経済産業省は、平成29年6月1日現在で「工業統計調査」を実施します。
工業統計調査は、従業者4人以上の製造事業所を対象に、製品出荷額などを調査することで、工業の実態を産業別・地域別に明らかにすることを目的としています。この調査は、国のもっと重要な統計調査として、統計法により報告義務が定められています。調査結果は、GDPの推計などに利用され、産業施策等のための基礎資料として活用されます。

5月から、都道府県知事に任命された調査員が各事業所を訪問し、活動状態の確認及び調査票の配布を行います。調査員から調査票を受け取られた事業所の皆様は、インターネットでご回答いただぐか、調査票にご記入の上、調査員へお渡しください。

調査票に回答していただいた内容は、統計作成の目的以外（課税資料など）には絶対に使用しません。安心してご回答ください。

● お問い合わせ先
地域づくり推進課 管理係
☎ 026-1911-5

工業統計調査を実施します

【妊娠届け出時の個人番号（マイナンバー）提示について】

平成29年4月から、妊娠届出書に個人番号（マイナンバー）の記入が必要になりました。「個人番号」と届け出人の本人確認を行いますので、左記の【必要書類】と印鑑を持参の上、届け出願います。また、届け出時に母子健康手帳、妊産婦健診受診票を交付しますので、できるだけ妊婦本人がお越しください。

妊婦の個人番号は、母子保健法施行規則に基づき、収集・管理を行い、母子保健法による妊娠の届出、母子健康手帳の交付、妊産婦の訪問指導に関する事務に使用します。

● 【必要書類】
①本人が届け出る場合
①本人が認証書類
(運転免許証、パスポート等)※
②個人番号カードまたは通知カード
①代理人の本人認証書類
(運転免許証、パスポート等)※
②妊婦の個人番号カード（写し）
または通知カード（写し）
③妊娠届出書（委任状欄に妊婦本人が記入済みのもの）※
※本人確認書類について、健康保

いしかわスキッズ広場開催日

【案内】

● 場所 中谷自治センター 体育館
利用対象 小学生就学前児童とその保護者（※小学生3年生までは、保護者責任のものと利用できます）
● 時間 4月2日・9日、午前8時30分～午後5時15分
● お問い合わせ先
石川町保健センター
☎ 026-18416

● 料金 無料
● 報いしかわを通じお知らせします。
● お問い合わせ先
保健福祉課 児童福祉係
☎ 026-10811

● 対象 音楽、演劇、舞踊等の分野において、継続的に創作発表・鑑賞等の活動を行っている団体（當利目的の団体は含みません）
● 要件 次の要件に適合する必要があります。
①芸術性、文化性を備え、文化振兴に寄与するものであること
②広く一般に公開されているもの
③政治活動や宗教活動でないもの
④営利を主目的とした活動でないもの
⑤その他特に町長が必要と認めるもの
● 助成額 創作発表事業については1事業30万円以上、鑑賞活動事業については1事業50万円以上の事業で、経費の3分の1以内の金額を、予算の範囲以内で30万円を限度とし

て助成します。

● 申請方法
所定の申請書に記入の上、必要な書類を添付し、石川町公民館窓口まで提出してください。（申請書は、石川町公民館に準備してあります）
● お問い合わせ先
教育課 文化振興係
☎ 026-125566

● 総括制度とは
納税者が他の土地や家屋の価格との比較を通じ、自己の土地や家屋の評価が適正かどうか判断できるようにするための制度です。

● 総括の期間
4月3日㈪～5月25日㈫
午前8時30分～午後5時（土・日・祝日を除く）
● お問い合わせ先
石川町役場 税務課
税務課 資産税係
☎ 026-19119

【骨盤ヨガ教室】 参加者募集のお知らせ

- 疲れやすいと感じている方、骨盤ヨガで「緒にリフレッシュします」
- お問い合わせ先
石川町保健センター
☎ 026-8416
- 持参物
水着、水泳帽子、バスタオル
- 参加費 無料
- 場所 石川町温水プール
- 申し込み期限 4月19日㈬
- お申し込み・お問い合わせ先
石川町保健センター
☎ 026-125566



水中エクササイズ教室 参加者募集



定の要件に合致している方
詳しいについては、町ホームページをご覧いただけます。
お問い合わせ先
税務課 課税係
☎ 026-19118

底し、交通事故に遭わないよう十分注意してください。
お問い合わせ先
町民生活課 生活安全部
☎ 026-19127

臨時福祉給付金の申請はお済みですか？



予防接種に関するお知らせ



平成29年度 定期予防接種のお知らせ

1、第2期麻しん・風しん定期予防接種

- 対象者 平成23年4月2日～平成24年4月1日生まれの方（新年長児）
- 接種期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

2、第2期ジフテリア・破傷風定期予防接種

- 対象者 平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの方（新6年生）
- 接種期間 11歳～13歳の誕生日の前日まで

3、第2期日本脳炎予防接種

- 対象者 ①平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれの方で9歳以上の方
②平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの方（高校3年生相当）
- 接種期間 ①9歳から13歳の誕生日の前日まで
②20歳の誕生日の前日まで

*②の対象の方は、日本脳炎ワクチンの一時見合わせの時期があり、第1期の接種が完了していない場合がありますので、母子健康手帳で接種回数について確認の上、受けてください。

《接種方法（上記1～3）》

- 実施場所 県内各医療機関での個別接種
※接種の際は、事前に必ずご予約ください。
- 接種料金 無料（接種期間を過ぎると全額自己負担となります）
- 接種回数 1回
- 持参物 予診票、母子健康手帳、健康保険証

4、成人用肺炎球菌ワクチン予防接種

- 対象者 ①平成30年4月1日までに65・70・75・80・85・90・95・100歳になる方
②60歳以上65歳未満で、次の障害がある方
 - ・心臓・腎臓または呼吸器の機能に自己の日常生活が極度に制限される程度の障害や、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方
- 接種期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

《接種方法（上記4）》

- 実施場所 県内各医療機関での個別接種
※接種の際は、事前に必ずご予約ください。
- 接種料金 2,400円（接種料金8,000円のうち3割を自己負担）
- 接種回数 1回
- 持参物 予診票、成人用肺炎球菌接種カード、健康保険証

風しん予防接種費用等助成事業のお知らせ

風しんは、妊娠初期の妊婦がかかると、目、耳、心臓などに障害を持つ「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが生まれる可能性があります。町では「先天性風しん症候群」を予防するため、免疫の不十分な方に対する予防接種費用等の助成をします。

●対象者

- 接種当日の時点で、石川町に住所を有し、次のいずれかに該当する方
 - (1) 妊娠を予定または希望している女性
 - (2) 妊娠している女性の夫（婚姻関係を問わない）
 - (3) 妊娠を予定または希望している女性の夫

注）次に該当する方は対象外といたします。

- *麻しん風しん混合ワクチンまたは風しんワクチンの接種歴が2回ある方
- *明らかに風しんにかかったことがある方
- *妊婦または妊娠している可能性のある方
- *妊婦に抗体がある場合は、その妊婦の夫は除外

●対象期間

平成29年4月1日～平成30年3月31日

●助成額

- | | |
|---------|--|
| ①抗体検査費用 | 1回 5,100円 |
| ②予防接種費用 | 風しんワクチン 1回 7,000円
麻しん風しん混合ワクチン 1回 10,000円 |

*石川郡内指定医療機関での抗体検査、予防接種費用は全額町が負担します。

●検査方法および接種方法

指定医療機関に直接お申し込みください。予診票は指定医療機関に置いてあります。
*持参物：健康保険証や運転免許証（現住所を確認できるもの）、接種を受ける方の母子健康手帳
※妊婦の方の方は、妊婦の母子健康手帳または写し

【指定医療機関】※必ず事前に予約をしてください。

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
石川中央医院	26-2024	味原医院	57-2054
大野診療所	26-2615	あつうみ内科医院	37-1544
添田医院	26-2538	ひらた中央クリニック	25-1414
田中内科医院	26-3333	角田内科医院	36-2067
中島医院	26-3415	ふるどのクリニック	32-1114
やまもと内科クリニック	26-8311		

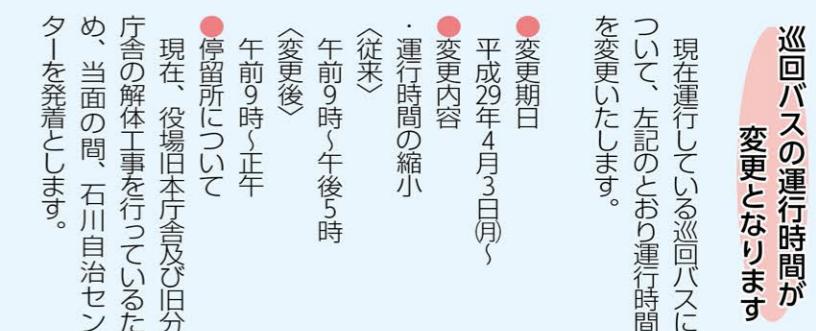
石川小学校屋内運動場が完成しました



平成27年12月より建設を進めていた石川小学校屋内運動場が完成し、3月1日に屋内運動場建築工事完成引渡式及び竣工式が行われました。引渡式では、施工業者から石川町へ、石川町から石川小学校へ引き渡しが行われ、その後、屋内運動場の見学会が行われました。竣工式では、新しい屋内運動場の完成を祝い、児童を代表して関根優志くんがお礼の言葉を述べました。その後、合唱部によるアトラクションが行われ、「ばさをください」「石川小学校歌」が披露されました。

石川小学校屋内運動場概要

- 構造規模
鉄筋コンクリート造
- 建築面積
1,195.38m²
- 延べ床面積
1,207.60m²



現庁舎→石川自治センター

現庁舎	石川自治センター
発	着
9:05	9:10
10:05	10:10
11:05	11:10



公民館だより

公民館事業計画について

石川町公民館では、次の事業を計画しています。町民の皆様多数ご参加ください。

なお、参加者の募集については、随時広報いしかわの「公民館だより」及び町のホームページでお知らせします。

事業名	主な内容	実施時期	対象者
子ども図書事業	図書室を活用して季節をテーマとした絵本の読み聞かせ等	4~3月	幼児・児童及び保護者
子ども体験学習「ぼくもわたしもチャレンジャー」	勾玉づくり、移動研修、鉱物採取、水生生物採取と水質調査、姉妹都市交流事業、登山に挑戦等	5~12月	小学4~6年生
第33回少年の主張大会	小学生・中学生・高校生による意見発表	6月	小・中・高校生
おじいちゃん・おばあちゃんへの手紙コンクール	命を伝えてくれた祖父母への感謝の気持ちと自分の成長を伝えるために手紙を送る。	6~7月	小・中・高校生
生き生きライフ講座	生き生きとした人生を送れるよう知識・教養を培うことを目的とする。	5~1月	成人
子育て講演会	家庭及び地域の教育力向上を図るために講演会を行う。	10月	成人
総合文化祭	芸術文化活動の総合発表、芸能祭、音楽祭	10~11月	一般町民

生き生きライフ

講座受講生募集

生き生きとした楽しい人生を送るために、体を動かしたり、移動研修に参加したり、一緒に楽しい時間を過ごしてみませんか。ぜひ、お誘い合わせの上、参加ください。

実施日 平成29年5月~

対象 平日の昼・夜(全6回程度)

募集人員 25名

事業内容 専門家の話を聴いたり、町内在住の一般成人

※個人情報は、講座等の連絡以外には使用いたしません。

※募集人員に達した段階で募集を締め切ります。

※受付時間 午前8時30分~午後5時

子ども体験学習「ぼくもわたしもチャレンジャー」教室生募集

わくわく、どきどきの体験活動を企画していますので、思いっきりチャレンジしてみましょう。

実施日 5月~12月
月1回土曜日(全8回)

対象 町内小学校の4~6年生

募集人員 20名

事業内容 勾玉づくり、移動研修、鉱物採取、水生生物採取と水質調査、登山に挑戦、姉妹都市交流事業など

◆申込締切 4月28日金

◆申し込み方法 次のいずれかの方法で申し込みください。
①直接石川町公民館へ来館し、申込用紙を記入
②FAX(住所、氏名、生年月日、電話番号)を送信願います。
※送信後は公民館に確認の電話を入れてください。

◆お問い合わせ先………石川町公民館 ☎ 26-2566



《資料館便り》

石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に昭和49（1974）年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけの一つです。

「資料館便り」編集：石川町立歴史民俗資料館
〒963-7845 石川町字高田200-2 ☎26-3768

放射化学の先駆者飯盛里安博士

石川に暮らした飯盛家の人々



▲研究棟（「高田桜」の東側）前で：（左から）二女・四男・三男・博士（背広姿）・添田少年（地元）・孫・三男妻・二男 昭和23年



▲戦後開発した人造宝石（石川産の石英が主原料）



▲下泉に新築された飯盛邸（愛宕山下、乗蓮寺西側）

究も開始します。飯盛家の疎開は昭和24年（1949）11月まで続きました。

●飯盛家の人々 日本を代表する化学者とその家族が、戦中・戦後4年間もこの石川の地でどのような暮らしをしていたのか。博士や家族の残した当時の日記、研究記録、書簡、写真、スケッチ等をもとに、現在、橋本悦雄氏（石川町文化財保護審議会委員）がまとめつつあり、近日上梓の予定です。

●『ペグマタイトの記憶』（石川町教育委員会発行・当館編集 平成25年刊・平成26年福島民報出版文化賞特別賞受賞）の姉妹編として、どうぞ御期待ください。

いしかわの「お宝」⑯

石川町指定天然記念物 （平成21年6月5日指定）

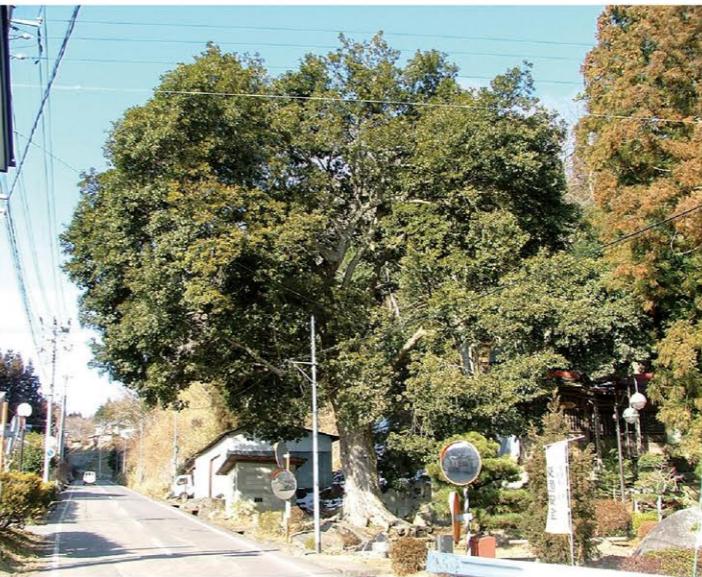
しおがま 「塩釜神社のアカガシ樹叢」

「資料館便り」では、町に伝えられて来た貴重な文化財、鉱物や動植物などの天然記念物を紹介します。

福島県「緑の文化財」
(緑の文化財登録第230号)

●町内字当町地内の塩釜神社には見事なアカガシが5本あります。もっとも大きなものは幹の周りが約4.1m、樹高が約18.5m、樹齢は推定300年です。この1本はまた、福島県の「緑の文化財」にも指定されています。

立派なアカガシがまとまって見られる風景は、神社の境内にふさわしいものです。また、石川町内のアカガシはすべて自生ではなく、植えられたものと考えられていますので、これからも大切に保護し、後世に伝えていきたいものです。



平成29年度「鉱物教室」 受講生募集のお知らせ

日本三大ペグマタイト鉱物産地に数えられる石川町の貴重な鉱物について、鉱物採集等を通して楽しみながら、勉強してみませんか。

1：実施日 全7回開催

- | | | |
|--------------|------------|-------------------|
| ①5月28日（日）開講式 | ②6月18日（日） | ③8月20日（日） |
| ⑤10月22日（日） | ⑥11月26日（日） | ⑦平成30年1月21日（日）閉講式 |

2：対象と募集人員 一般成人（15）名

※申込者多数の場合は、募集人員に達した段階で募集を終了させていただきます。

3：事業内容 講義・講演 ⇒ ①兼開講式 ③講演会

⑦閉講式（兼学習会）

鉱物採集 ⇒ ②・④・⑥

視察見学 ⇒ ⑤（他県の博物館等）

4：参加費 無料

5：申込期間 4月3日（月）～4月28日（金）

6：申込方法 ①直接公民館・資料館へ来館 ②電話

③FAX ※必ず確認の電話をお願いします。

7：お問い合わせ先 教育課文化振興係（公民館内）

☎0247（26）2566 FAX（26）4992

歴史民俗資料館 ☎0247（26）3768



HAPPY SmILE

ハッピー スマイル



小松 英輔くん(6か月)



「いつもニコニコで明るい英輔、
これからもすくすく大きくなあれ！」
パパ・ママより 屋敷入

●「ハッピースマイル」では参加してくれるお子さん(3歳以下)を募集しています。気軽にお問い合わせください。

石川町役場総務課 26-2111

●ハッピースマイルは電子メールでも受付しています。
必要事項を記入し写真画像を添えお送りください。
koho_k@town.ishikawa.fukushima.jp



職業▶ALSOK福島株式会社に勤めています。

Q 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか。

A 現在働いている会社です。私はお客様に「安全安心」で生活して頂けるように、日々仕事に取り組んでいます。

Q 将来やってみたいことや夢を聞かせてください。

A 両親へ親孝行をして結婚をし、幸せな家庭を築きたいです。

Q 将来どんな町になって欲しいですか。

A 楽しく活気のある町。

Q 最後に理想のタイプは。

A おもしろくて家庭的な人。

▶次回は、高原さんの紹介で斎藤 未奈実さんです。

Q & A 青春ど真ん中



高原 伸幸さん(20歳)

編集後記

今月号の表紙を飾っていただいた石川中学校の卒業証書授与式にお邪魔させていただきました。慣れ親しんだ校舎、楽しかった学校生活などたくさんの思い出があると思います。いつかは別れが来るのは惜しいことですが、これから多くの出会いもあります。その出会いに感謝しながら、皆さんの大きな夢・目標に向かって頑張ってください。(山田)

みんなで防犯

子ども防犯呼びかけ隊

野木沢 小学校 6年 田村 しょうた 笠汰さん

今月の隊長 広報無線の声

Q毎日の通学などで気をつけていることは？
A寄り道はせずに必ず友達と一緒に帰っています。防犯ブザーは必ず身につけ、すぐに鳴らせる場所に取り付けています。

Q将来の夢を聞かせてください。
Aゲームが好きなので、みんなが楽しめるゲームを作ることができたらいいです。今の暮らししがどんなに便利か勉強するゲームを作ってみたいです。

町の人口

●3月1日現在住民基本台帳●		() 内前月比
15,855人(△24)
男 7,779人(△ 5)
女 8,076人(△19)
世帯数 5,691戸(△12)

町民憲章

- 自然と文化を愛し
豊かな町をつくりましょう
- 親切と勤労をむねとし
住みよい町をつくりましょう
- 歴史と未来をみつめ
誇りある町をつくりましょう